

中間決算説明会

2008年10月30日

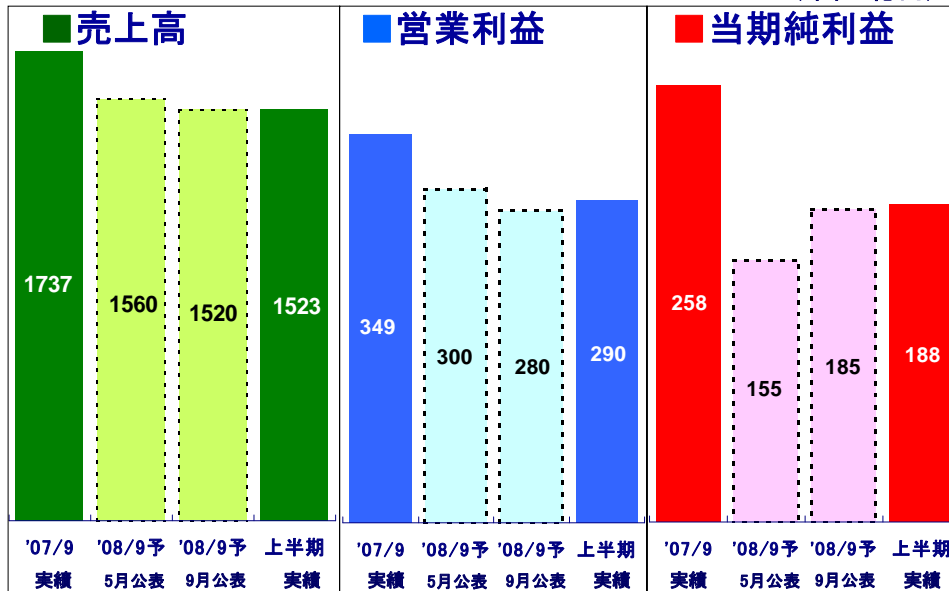
日本ガイシ株式会社
NGK Insulators, Ltd.

本日の説明者

- | | | |
|------------------|----|---|
| ■代表取締役社長 | 松下 | 雋 |
| ■代表取締役
専務執行役員 | 和田 | 洋 |
| ■執行役員財務部長 | 坂部 | 進 |

上半期業績

(単位: 億円)



■ 上半期実績の要点 (単位: 億円)

◆ 前年同期比減収減益

米国の景気低迷や原油高により自動車・ディーゼル関連製品が減少した他、半導体製造装置用セラミックスの需要も減少。諸資材高騰の影響もあり前期比減収減益。

売上 $\Delta 214$ (電力 $\Delta 14$ 、セラ $\Delta 42$ 、エレ $\Delta 40$ 、環境 $\Delta 118$)

営業利益 $\Delta 59$ (電力 $\Delta 9$ 、セラ $\Delta 38$ 、エレ $\Delta 20$ 、環境 $+9$)

為替の影響(106円/\$、162円/ER) 売上 $\Delta 34$ 、営業利益 $\Delta 16$

◆ 9月公表比

売上 $+3$ (電力 $+6$ 、セラ $\Delta 3$)

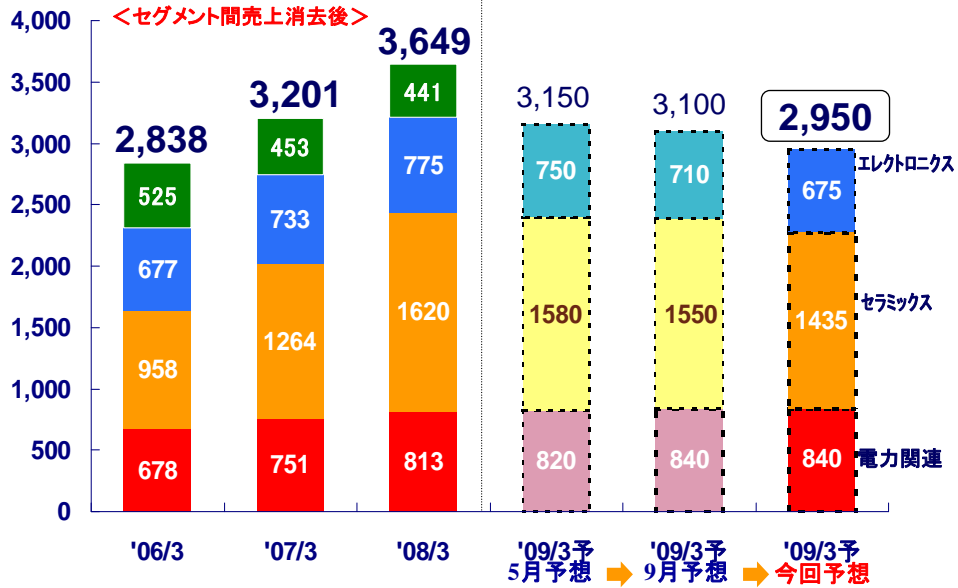
営業利益 $+10$ (電力 $+6$ 、セラ $\Delta 2$ 、エレ $+6$)

■ '09年3月期 年間見通し(次ページ参照)

- ◆ 中国での電力需要やNAS電池は増加。自動車・ディーゼル関連製品と半導体製造装置用セラミックスは引き続き低調の見込み。

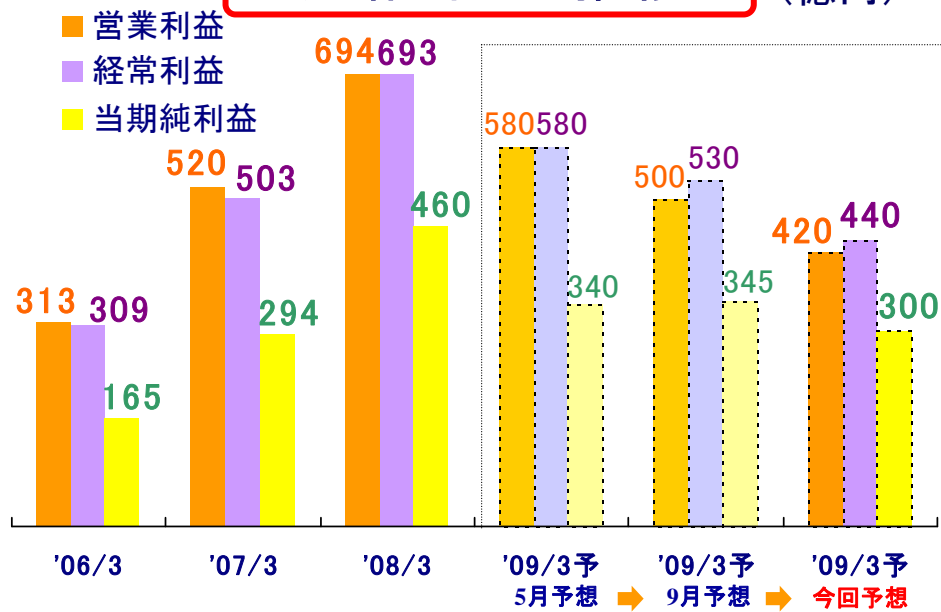
連結売上高推移

(億円)

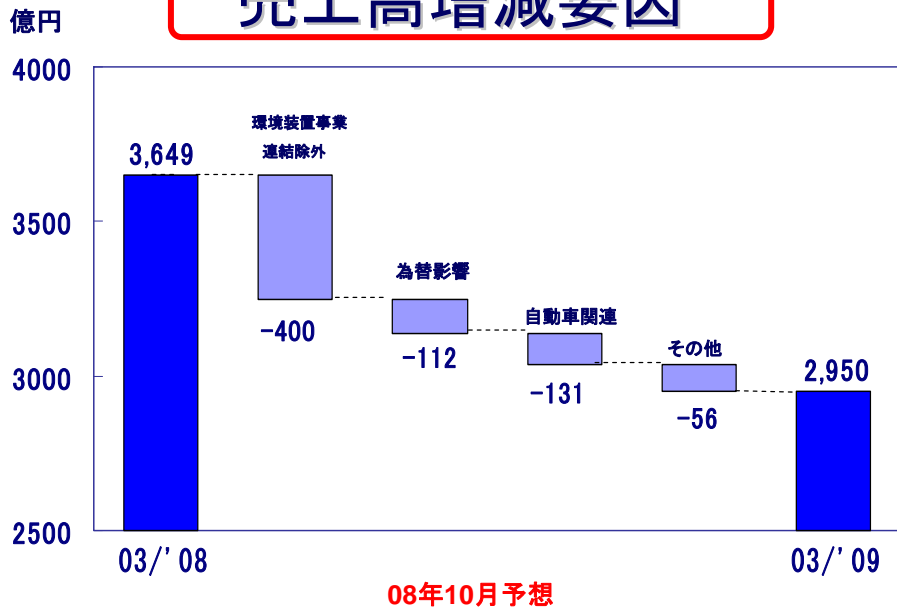


連結利益推移

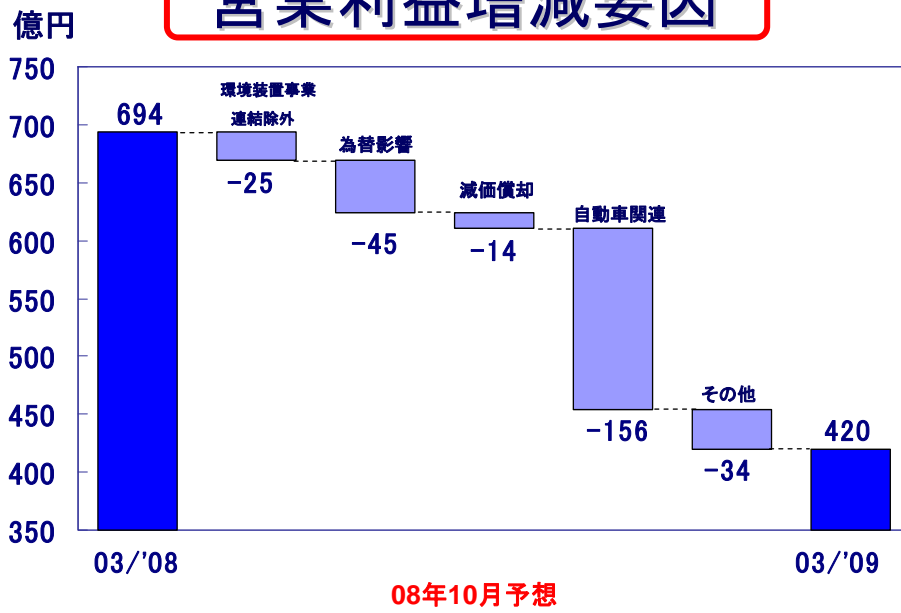
(億円)



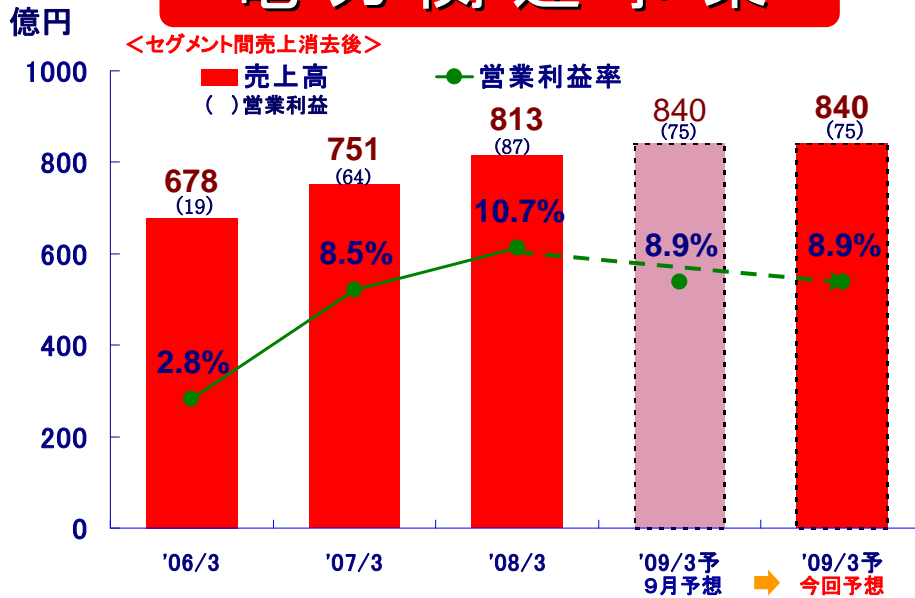
売上高増減要因



営業利益増減要因



電力関連事業



■ 事業環境

- ◆ がいし 中国市場活況、国内は500KVが高水準
- ◆ NAS電池 国内外の需要増加(増産投資90MW→150MW)

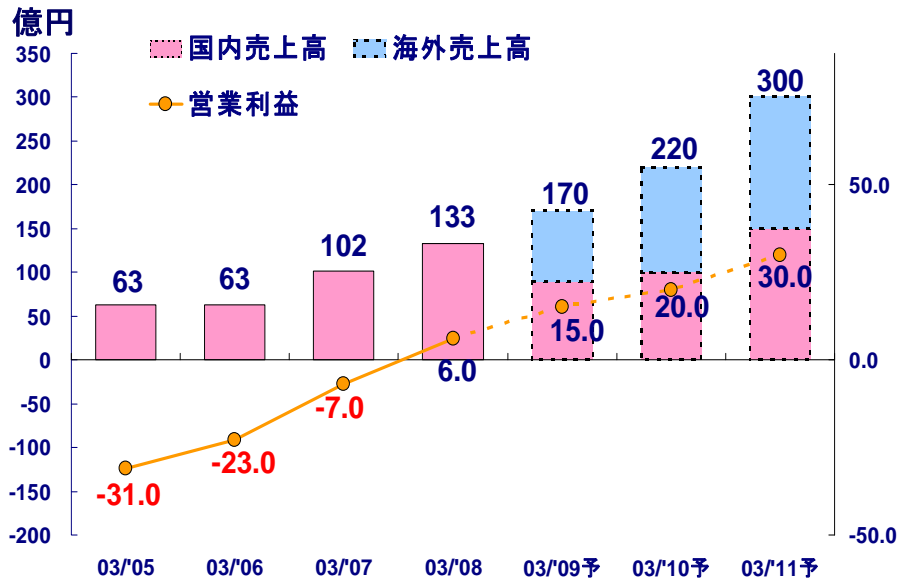
■ 期首からの状況変化

- ◆ 中国市場の想定以上の拡大、NAS電池の需要増加

■ 課題

- ◆ がいし: 生産拠点の増強と収益力向上
 - ・拡大する中国市場への対応(中国工場増強)
 - ・国内取替需要促進
- ◆ NAS電池: 事業拡大と収益力向上
 - ・国内風力発電向け需要の取込み、海外展開の促進
 - ・コストダウン推進

NAS事業の業績見通し



■ NAS電池の需要は国内外で増加する見通し

◆ 国内市場

- ・ 風力発電向け需要の取込み

◆ 海外市場

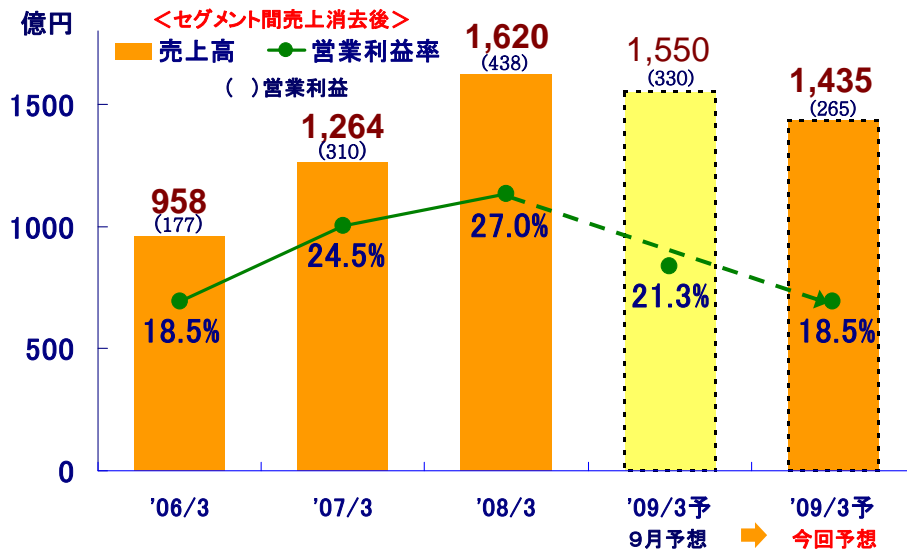
- ・ 自然エネルギー分野、原油高に伴う発電コスト抑制、電力需給調整分野

■ 需要増加への対応

- ◆ 生産能力を現状の90MWから150MWへ増強

(113億円の設備投資を決定)

セラミックス事業



■ 事業環境

◆ 米国景気後退による米国自動車販売台数の減少

- 自動車排ガス浄化用セラミックス(ハニカム)
- Cd(コージェライト)製DPF、トラック排ガス浄化用セラミックス(大型ハニカム)
- SiC製DPF(ディーゼル・パーティキュレート・フィルター)
- 米国市場での需要が大幅減少

◆ 世界的な自動車排ガス規制強化

- 自動車排ガス浄化用セラミックス(ハニカム)
- 規制対象地域の拡大により需要は漸増傾向
- Cd(コージェライト)製DPF、トラック排ガス浄化用セラミックス(大型ハニカム)
- 排ガス規制強化により2010年以降にトラック、建機向けの需要増を見込む

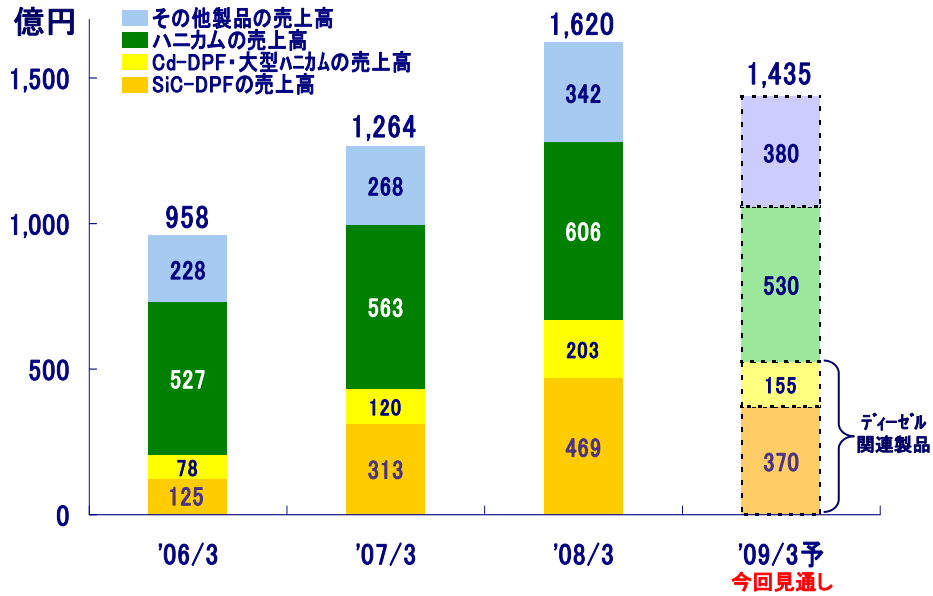
■ 期首からの状況変化

- ◆ 景気低迷, 原油高騰に伴い小型車化進展
- ◆ サプライチェーン内の在庫調整による出荷物量減

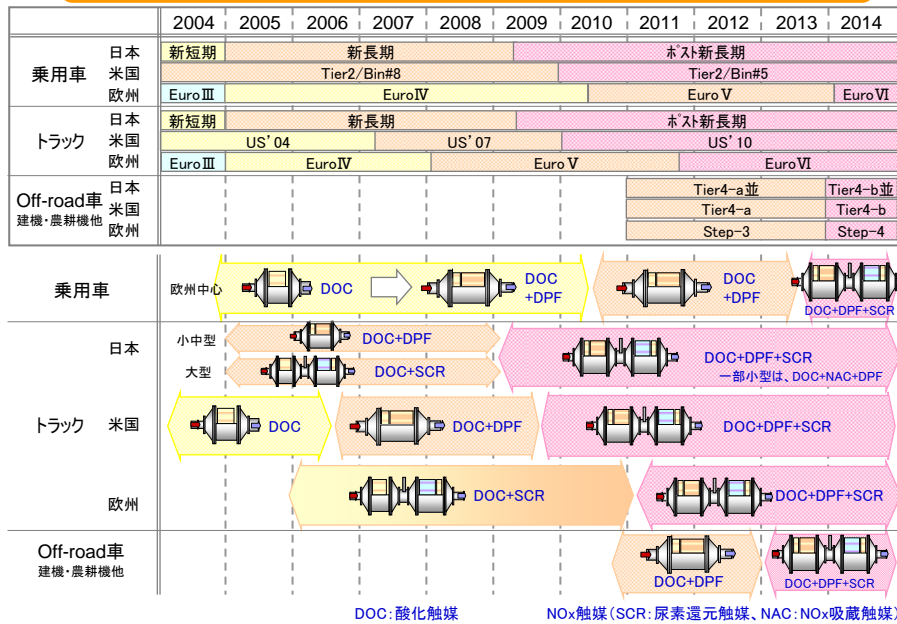
■ 課題

- ◆ Cd製DPF・大型ハニカム グローバルな生産体制の確立
- ◆ SiC製DPF 他素材との差別化・価格競争力の確保

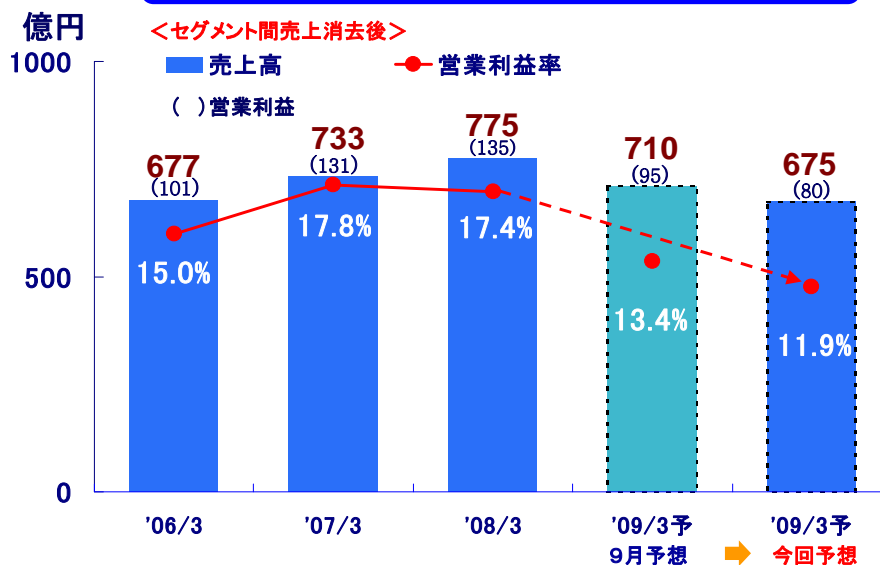
セラミックス事業の売上見通し



ディーゼル排ガス規制と対応技術動向



エレクトロニクス事業



■ 事業環境

- ◆ **ヘリウム銅展伸材**: 携帯メーカーの業績悪化により市場に減速感。
- ◆ **半導体製造装置用セラミックス**: 半導体メーカーの設備投資が大幅に減少。
- ◆ **カラープリンター用機能部品**: 客先の販売台数増加により物量増も米国景気後退により先行きに不透明感。
- ◆ **双信電機製品**: 情報通信、産業用電子機器の需給軟化

■ 期首からの状況変化

- ◆ エレクトロニクス業界全体の需給が軟化

■ 課題

- ◆ **新製品の開発促進と売上拡大**
(次世代機能部品、静電チャック、照明製品 etc.)

上期・下期別 連結売上高・営業利益

(億円)

セグメント間
売上消去後

連結合計	'08/3期			'09/3期 9月予想	'09/3期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績		上期 実績	下期 予想	通期 予想
連結売上高	1,737	1,912	3,649	3,100	1,523	1,427	2,950
連結営業利益	349	345	694	500	290	130	420
営業利益率	20%	18%	19%	16%	19%	9%	14%

電力関連

連結売上高	375	438	813	840	361	479	840
連結営業利益	40	47	87	75	31	44	75
営業利益率	11%	11%	11%	9%	9%	9%	9%

セラミックス

	'08/3期			'09/3期 9月予想	'09/3期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績		上期 実績	下期 予想	通期 予想
連結売上高	839	781	1,620	1,550	797	638	1,435
連結営業利益	236	202	438	330	198	67	265
営業利益率	28%	26%	27%	21%	25%	11%	18%

エレクトロニクス

連結売上高	405	370	775	710	365	310	675
連結営業利益	81	54	135	95	61	19	80
営業利益率	20%	15%	17%	13%	17%	6%	12%

エンジニアリング

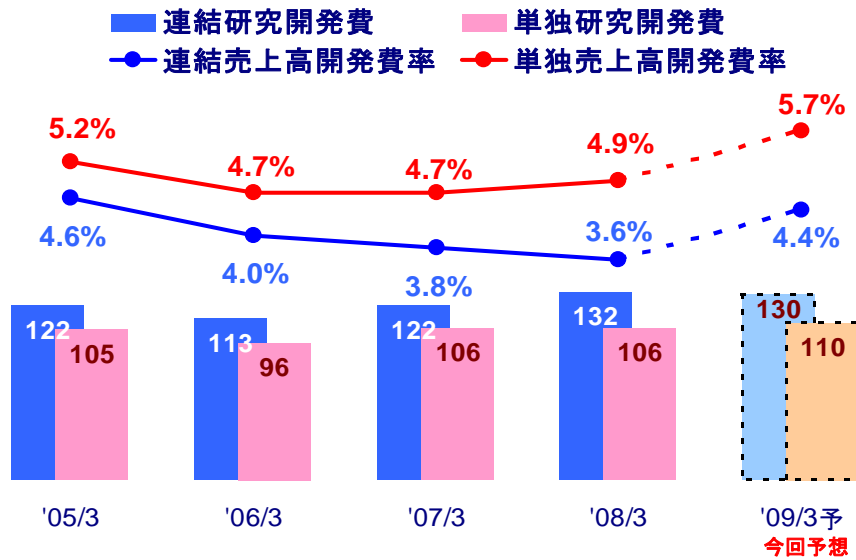
連結売上高	118	323	441				
連結営業利益	△9	41	32				
営業利益率	-	13%	7%				

連結キャッシュ・フロー 計算書

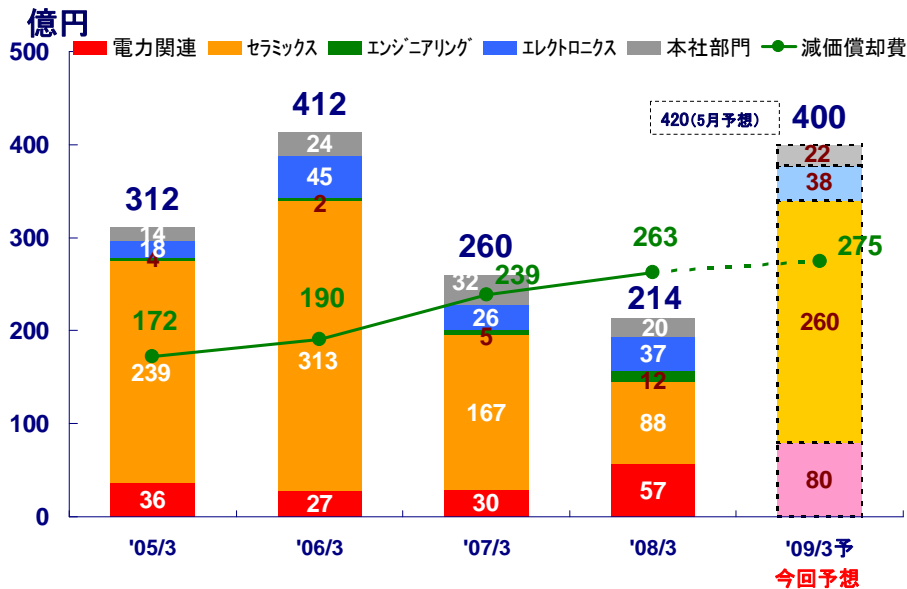
	'07/3	'08/3	'09/3予
税前利益	513	782	410
法人税等の支払額	-170	-216	-246
減価償却費	238	263	275
売掛債権の増減	-38	34	2
棚卸資産の増減	-41	-71	-3
その他	-119	-125	-98
営業活動による キャッシュ・フロー	383	667	340
有形・無形固定資産取得	-242	-210	-400
投資有価証券の売却・償還	47	11	0
その他	-18	32	-5
投資活動による キャッシュ・フロー	-213	-167	-405
	'07/3	'08/3	'09/3予
自己株式の取得	-3	-6	-137
配当金の支払	-47	-67	-74
社債償還	-	-	-100
新規調達	64	-	-
その他	-5	-28	-29
財務活動による キャッシュ・フロー	9	-101	-340
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	16	-
現金及び現金同等物の増減額	192	415	-405
連結範囲の変更に伴う現金同等物の増減額	-	-	-43
現金及び現金同等物期末残高	783	1,198	750

研究開発費

(億円)



設備投資推移



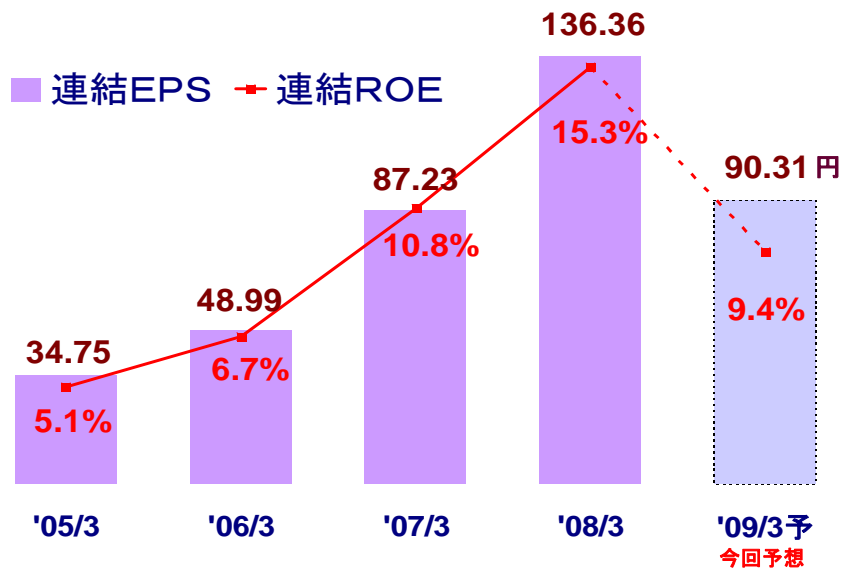
実質発行済株式数の推移

'96/3	355 百万株		
'97/3	345	-10	自己株式買入消却
		+29	ワラントの行使
'98/3	364	-10	自己株式買入消却
'99/3	354	-10	自己株式買入消却
'00/3	339	-15	自己株式買入消却
		+37	転換社債の株式転換
'01/3	367	-10	自己株式買入消却
'02/3	357	-10	自己株式買入消却
'03/3	346	-10	自己株式買入、消却済
		-8.4	自己株式買入、消却済
'07/3	337		
'08/3	337	-0.2	子会社からの自己株買取、消却済
'08/9	332	-5	自己株式買入

自己株式買入累計
88.6百万株
990億円

新たに5百万株
60億円を上限
とした自己株買付
を実施予定
(08'/10末～)

EPS/ROE



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 企画・IRグループ

Tel. (052) 872-7186 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>